

株式会社コメリ

2026年3月期 第3四半期

決算説明資料

(2025年4月1日～2025年12月31日)



KOMERI

<https://www.komeri.bit.or.jp/>



2026年1月27日
東証プライム (8218)

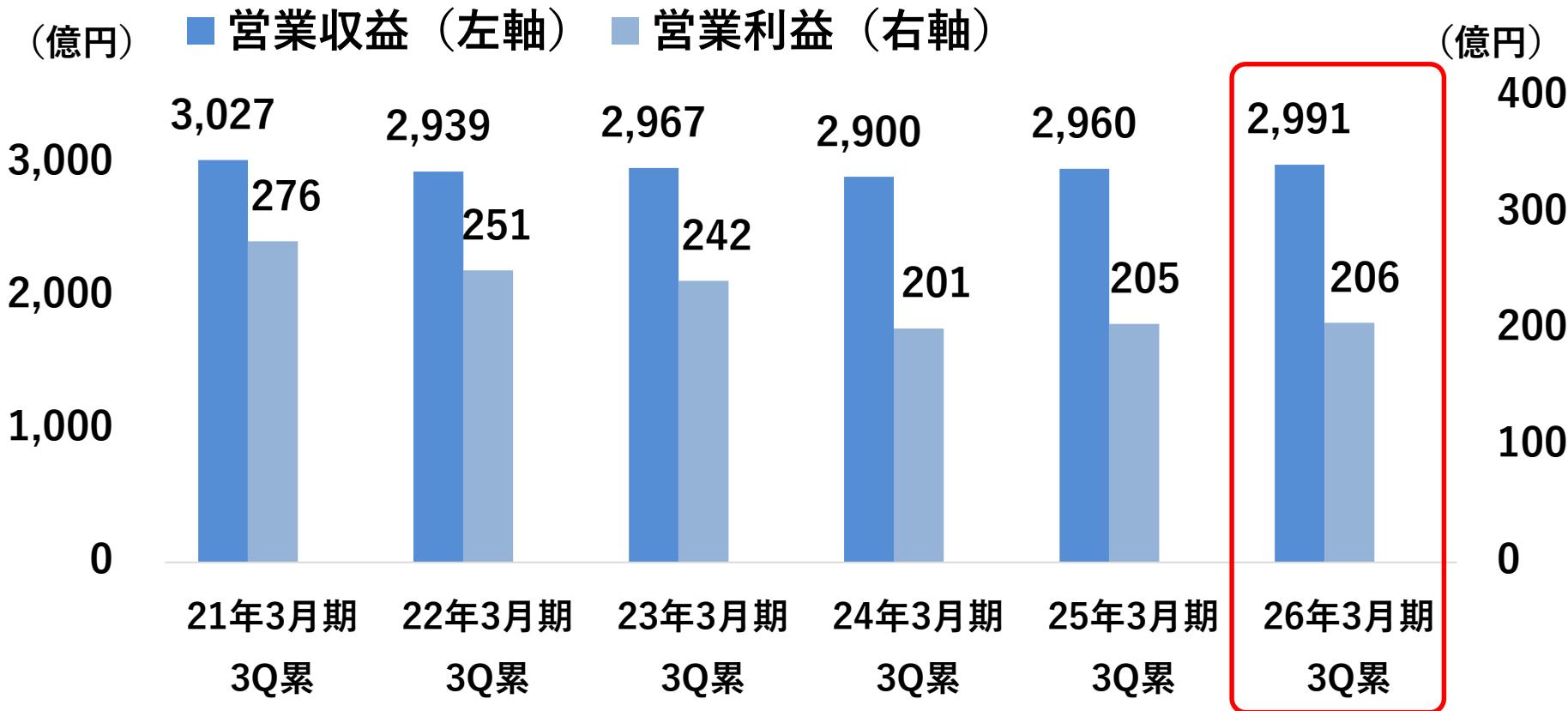
2026年3月期 第3四半期 決算実績（連結）



(単位：百万円)

	当第3四半期 累計実績	営業収益比	前年比
営業収益	299,194	100.0%	101.1%
営業総利益	102,776	34.4%	101.8%
販売管理費	82,132	27.5%	102.2%
営業利益	20,643	6.9%	100.2%
経常利益	21,010	7.0%	103.2%
親会社株主に帰属す る四半期純利益	13,926	4.7%	104.4%

営業収益・営業利益推移



- 当社の主力カテゴリーである、農業資材が堅調
- 6~7月は気温が高く、冷房用品や遮光用品が堅調
- 12月は気温が下がらず、暖房用品や除雪関連商品が低調
- 発電機や乾電池等、昨年の防災用品特需の反動減

商品カテゴリー別実績



	2026年3月期第3四半期				
	売上金額	前年比	営業収益比	荒利益率	前年差率
工具・金物・作業用品	54,280	100.8%	18.2%	42.3%	▲0.2
リフォーム資材・エクステリア用品	43,660	99.9%	14.6%	28.8%	+0.1
園芸・農業・ペット用品	93,783	102.2%	31.4%	30.6%	+0.5
日用品・家電・カー・レジャー用品	59,305	100.6%	19.8%	25.4%	+0.3
インテリア・家庭・オフィス用品	26,392	98.4%	8.8%	39.6%	▲0.1
燃料等	7,515	105.5%	2.5%	11.8%	▲0.4
その他	11,131	105.1%	3.7%	31.2%	—
ホームセンター事業計	296,068	101.1%	99.0%	34.4%	+0.2

- ・作業シートや電材等の建設事業者向けの商品が堅調
- ・合板等の市場単価下落による販売金額の低下
- ・カー用品のPBブランド「CRUZARD」が堅調
- ・12月は気温が下がらず、秋冬のラグ等のインテリアが低調

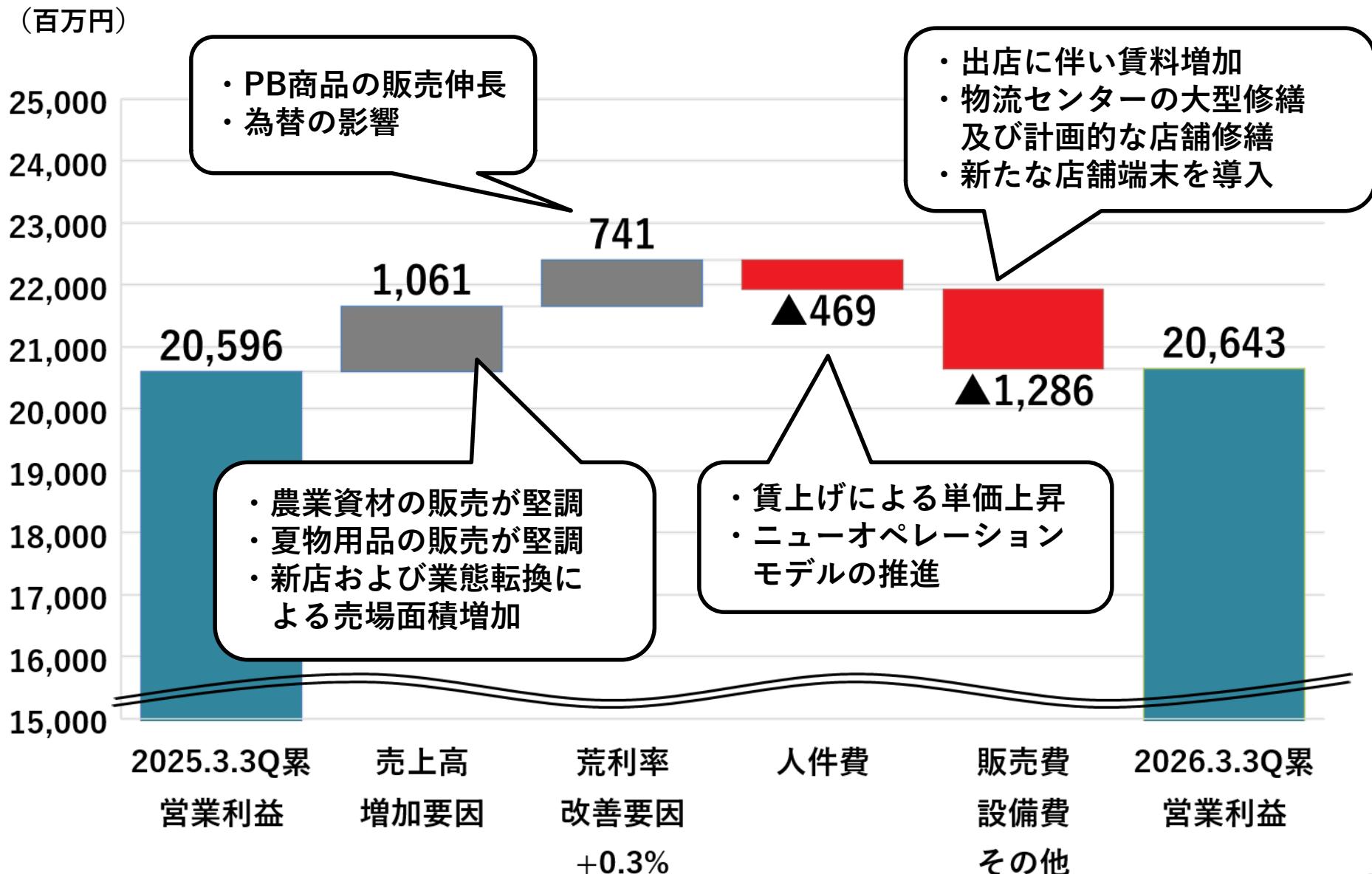
フォーマット別実績



	2025年3月期 第3四半期		2026年3月期 第3四半期	
	売上 前年比	売上 既存比	売上 前年比	売上 既存比
パワー	103.1%	101.3%	102.5%	100.3%
PRO	143.7%	107.1%	125.7%	106.2%
ハード & グリーン	100.8%	100.4%	99.5%	99.4%
合計	102.1%	100.8%	101.0%	99.8%

- ・パワーは冷房用品等の夏物関連商品が堅調
- ・PROは作業シートや電材等の消耗資材や、熱中症対策の義務化によりファン付ウェア等が堅調
- ・ハード & グリーンは、除雪関連商品の低調が大きく影響

営業利益増減要因



販売管理費



(単位：百万円)

	2026年3月期第3四半期		
	実績	前年比	前年差
人件費	36,330	101.3%	+ 469
販売費	9,431	98.2%	▲175
設備費	27,562	103.1%	+ 823
その他経費	8,807	107.8%	+ 637
合計	82,132	102.2%	+ 1,755

- ・ニューオペレーションモデルにより人件費の増加を抑制
- ・新規出店に伴う賃料の増加
- ・物流センターの大型修繕及び計画的な店舗修繕
- ・生産性向上のため、新たな店舗端末を導入

連結貸借対照表



(単位：百万円)

	科 目	2025年12月末	2025年3月末	前期末増減	2024年12月末	前年増減
資産の部	流動資産	180,622	181,484	▲862	179,665	+ 956
	うち 現金及び預金	18,833	16,342	+ 2,491	21,306	▲2,472
	うち 商品	118,242	130,419	▲12,177	119,529	▲1,287
	固定資産	209,418	205,176	+ 4,241	195,856	+ 13,562
	うち 有形固定資産	182,383	178,258	+ 4,125	169,439	+ 12,943
	うち 無形固定資産	9,284	9,120	+ 163	9,136	+ 147
	資産合計	390,041	386,661	+ 3,379	375,521	+ 14,519
負債の部	流動負債	96,439	105,740	▲9,300	100,061	▲3,622
	うち 短期有利子負債	12,384	22,613	▲10,229	16,664	▲4,280
	固定負債	37,048	34,604	+ 2,443	30,254	+ 6,793
	うち 長期有利子負債	13,904	11,530	+ 2,374	11,899	+ 2,005
	負債合計	133,488	140,345	▲6,856	130,316	+ 3,171
	純資産合計	256,553	246,316	+ 10,236	245,205	+ 11,347
	負債・純資産合計	390,041	386,661	+ 3,379	375,521	+ 14,519

成長基盤投資～投資計画～



	2026年3月期 計画	2026年3月期 第3四半期実績	
新規出店	35店舗 130億円	11店舗 57億円	
既存店 改装等	売場面積の 10%強 30億円	115店舗実施 15億円	
流通 センター (非店舗)	センター新設 既存センター 機能拡充 120億円	センター新設 既存センター 機能拡充 91億円	
各種 システム投資	20億円	12億円	
合計	300億円	175億円	

第3四半期までの出店状況



■ 出店 店舗数：計1,228店舗

総売場面積：前期末比100.9% (2025年12月末時点)

出店	合計	パワー	PRO	H & G	アテーナ
通期計画	35	8	8	19	0
第3四半期累計	11	3	2	6	0
退店 (業態転換・移転増床含む)	11	0	0	9	2

■ 改装

	改装店舗数	改装坪数
第3四半期累計実績	115	65,393坪
通期計画	約150	総売場面積 10%以上

- ・ H&Gのプロトタイプの水平展開
- ・ キープヤング

改装実施後
売上高約2.6%増

■物流の役割

生産～販売
までのトータル
プロデュース

商品力の強化

ローコスト
オペレーション



- ・現関西センターを移転拡張
→関西エリアの出店強化
→物流の効率化
- ・最新システム導入
→構内および店舗の省力化・省人化
- ・車両待機時間 平均25分→5分

商品力の強化



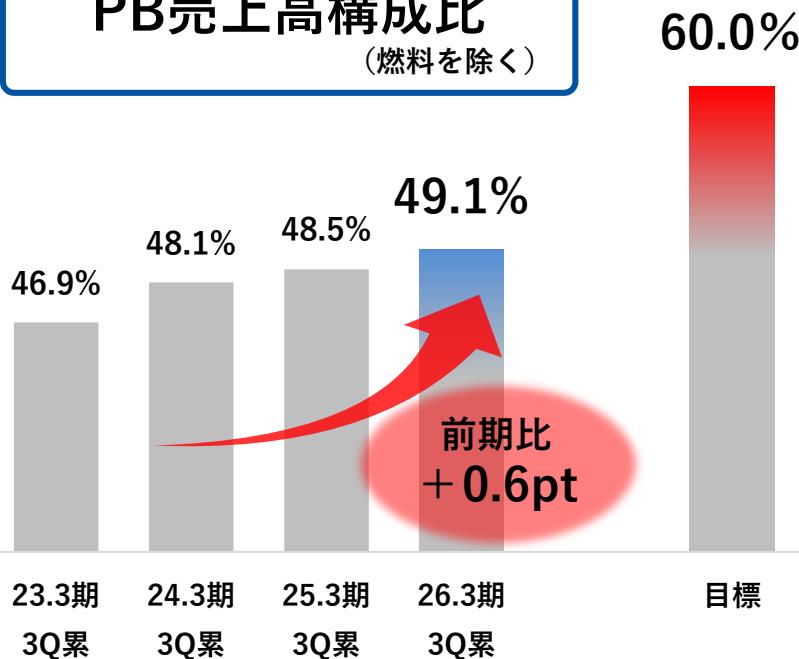
■PB強化、カテゴリーブランドの強化

暮らしを守る（同じ商品であればどこよりも安く）

暮らしを育てる（同じ価格であればどこよりも良い商品を）



PB売上高構成比 (燃料を除く)



選んでお得！コメリのオリジナル商品



PB売上高 前年同期比101.9%

リフォーム事業



■1,200を超える店舗数を活かしたチェーンリフォーム

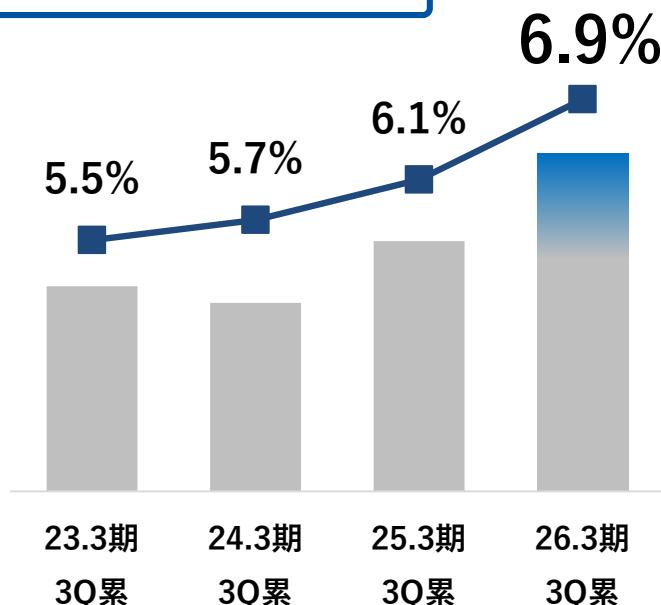
- ・標準化された「商品力・提案力・施工力」
- ・リフォームマイスター2級取得率：84.8%
(2025年12月末時点)



■ネットとリアルの融合

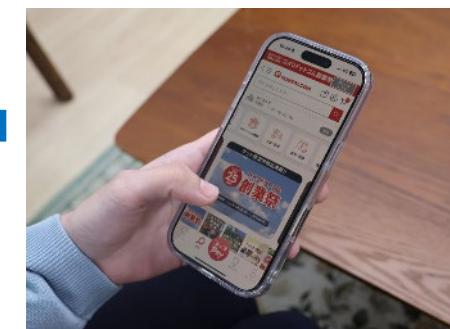
- ・1,200を超えるリアル店舗の強みを活用
- ・EC売上前期比113.7%、EC売上比率6.9%（前期比0.8pt増）
- ・EC注文商品の店舗受取比率は80%超

EC売上高構成比



送料不要の
店舗受取
BOPIS

約52万SKUが
ネット注文可能



■ロイヤルカスタマーブル

- ・個人、農家、法人等の決済ニーズに合わせた6種類のカード
→ カードホルダーの売上構成比約50%
- ・年間の購入金額に応じてポイント率を優遇するFSP施策
- ・カードとアプリの連携によりお客様のニーズに合ったCRM

FSP制度



アプリ連携



お客様に合ったCRM



■ローコスト運営の拡大

- ・セルフレジ設置店舗は163店舗に拡大
- ・お掃除ロボット導入店舗は26店舗に拡大
- ・2025年6月より各種コード決済サービスの導入
- ・接客や作業伝達に使用するタブレットを全店導入

(2025年12月末時点)



■農業者の利便性向上

- ・アグリ営業マネジャー95名（492店舗にて営農指導）
- ・6JAとの協業関係
 - JAの商品を取り扱っている店舗は39店舗に拡大
 - JA・農業者・コメリの「三方良し」
- ・今期末までに、さらに2JAと協業開始予定（2025年12月末時点）



<アグリ営業マネジャーによる営農指導><2025年6月/JA山梨みらいとの協業開始セレモニー>

サステナビリティの取り組み



・環境に配慮した商品開発



ウッドデザイン賞受賞
JAPAN WOOD DESIGN
AWARD 2025
—奨励賞（審査委員長）受賞—



「エコクレオ防腐杭」

- ・水性防虫・防腐剤を含浸させた木製杭
 - 使用用途の無い節材を活用
 - 環境負荷の少ない防虫防腐剤を使用

・雪梁舎ギャラリーを開設



新店のコメリパワー黒崎店内に
「雪梁舎ギャラリー」を開設（2025年12月）

- ・雪梁舎美術館「フィレンツェ賞展」
の上位入賞者の作品を展示・販売
- ・住環境にうるおいをもたらし、
豊かな暮らしの一助になると期待

サステナビリティの取り組み



- ・国際輸送での一貫パレチゼーション開始



PB商品を輸入する際、レンタルパレットを国際間で循環して使用できる仕組みを構築

- ・木製パレットの購入・廃棄コスト削減
→CO2排出量：年間約170 t 削減
- ・積替えを無くし現場作業の負荷を削減
→作業時間：年間約1,016時間短縮

- ・太陽光発電設備の導入拡大



	当第3四半期 累計設置数	累計設置数 (2025年12月末時点)
店舗	2	21
物流センター	1	5
合計	3	26

年間CO2排出削減量見込み：約630 t

人的資本投資



- 「人は事業の最も大切な柱である」

賢和塾

人材育成の根幹 「賢和塾」

- ・次世代幹部候補を中長期的な視点で育成
- ・不易流行の創業の精神を継承し、実践できる人材を育む教育カリキュラム

提案力

- ・社内マイスター制度の充実
→ハード、グリーン、リフォーム等



商品知識・業務習得

- ・Eラーニング
- ・OJT、OffJTの環境整備



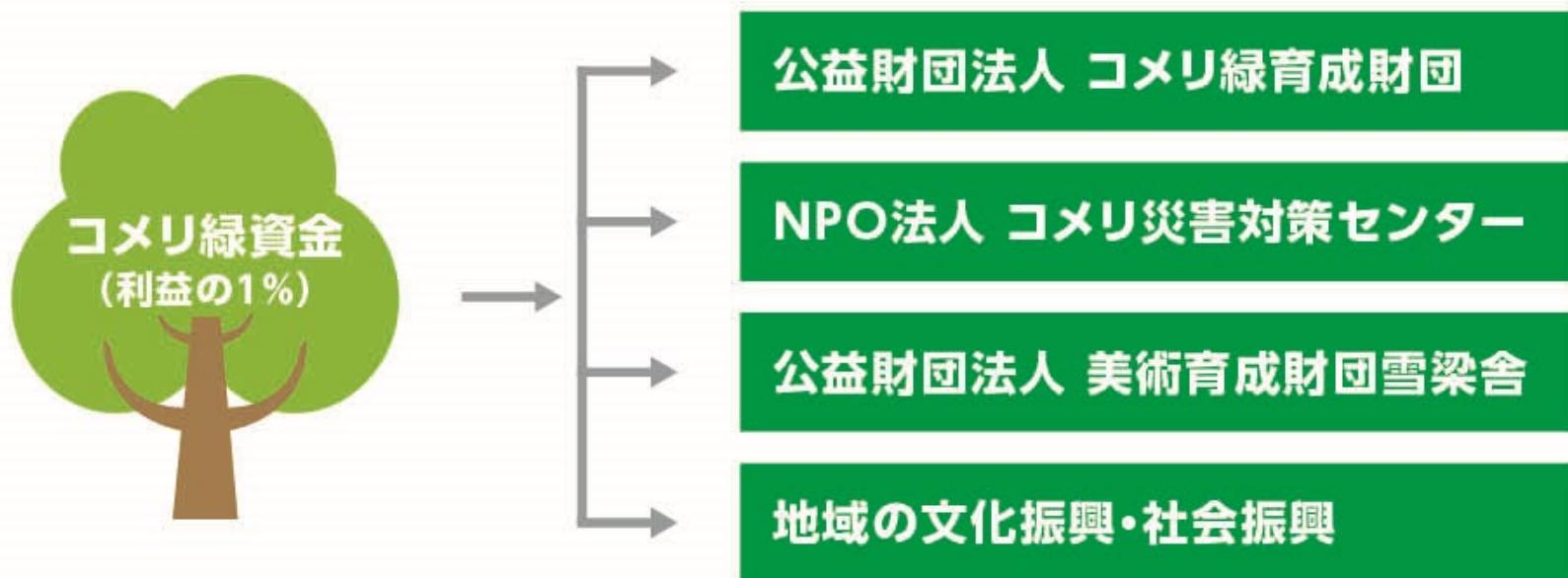
マネジメント

- ・社内アメリカセミナー
- ・中堅育成セミナー 等



■ 地域社会へのご恩返し「コメリ緑資金」

1990年から毎年利益の約1%相当額を活動原資として、社会貢献事業に約立てています



35年間の活動総額は 約26.0億円

社会貢献活動



公益財団法人

コメリ緑育成財団

コメリ緑資金助成

コメリ緑資金
ボランティア

農業の振興・
支援事業



各自治体や地域社会と連携し、自然環境保全活動や
里地里山保全活動、緑地植栽活動などに取り組んでおります
12月：助成先を決める審議委員会を開催（2025年度）
→24都道府県 35団体への助成が決定

社会貢献活動



NPO法人
コメリ災害対策センター



<静岡県川根本町/協定締結式>



<新関西センター内/災害への取り組みを紹介>

NPO法人コメリ災害対策センター設立20年

- ・1,202団体との物資支援協定を締結（25年12月末時点）
- ・災害発生時に必要物資を素早く供給できる体制を整備

2026年3月期業績予想



(単位：百万円)

	2026年3月期 第3四半期実績	前年比	2026年3月期 業績予想	前年比
営業収益	299,194	101.1%	391,000	103.1%
営業利益	20,643	100.2%	23,500	104.9%
経常利益	21,010	103.2%	23,700	106.5%
親会社株主に帰属 する当期純利益	13,926	104.4%	14,600	106.4%
配当金	中間 28円	+ 1円	中間 28円 期末 28円	+ 2円

2025年4月22日に公表いたしました
通期業績予想を据え置いております



【見通しに関する注意事項】

当社が開示する情報の中には、将来の見通しに関する記述が含まれている場合があります。これらの記述は、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定に基づくほか、様々なリスクや不確定性・不確実性を含んでおります。したがって、現実の業績は当社の見込とは異なる可能性があります。